

こんどは 日本共産党を大きく

「田んぼに、畑に水が欲しい！」とみなさんの願いが届いたのか、長旅に出かけていた梅雨がもどって、一息ついておられる方も多いかと思えます。降り出したら今度は大雨警報が発せられるほどのどしゃ降りの地域も。自然現象は人間の力ではコントロールできません。一方、社会・経済現象は人間がつくりだしているもの。人の知恵でコントロールは可能です。アベノミクスが大々的に持ち上げられました。4月初旬の日銀による「異次元の金融緩和」から2カ月余りで、安倍内閣の看板とは異なる「成果」が表面に。日本共産党は当初から、安倍首相が胸を張り、巨大メディアが異常なほど持ち上げる「三本の矢」には国民所得を増やす矢は一本もない。それどころか、所得を奪うばかりの「5本の毒矢」だと厳しく批判。東京株式市場で株価が急落し、長期金利も乱高下を始めた5月23日、志位和夫委員長は「アベノミクスが制御不能におちいりつつある」「政府自ら投機とバブルをおりたてるのは邪道だ」と指摘。大企業の莫大な内部留保金の一部を活用

した労働者の賃上げと消費税増税中止こそデフレ脱却の道だと強調したのです。7月に予定されている参議院選挙は民主の裏切り、維新が自民の補完勢力としての本性をあらわにする中、まさに「自共対決」の様相を強めています。消費税引き上げを中止し、国民のくらしを守る経済の立て直し、「安全」を確保できない原発は即時廃止の政治決断を、TPP参加・普天間基地などアメリカいいなり政治をやめる、憲法9条を守る、侵略戦争美化では国際社会で生きる土台を壊す。これをとつても、日本の進路をめぐる重大問題です。東京都議選で17議席に躍進した日本共産党に注目が集まっています。

西澤議員

不適切表現でお詫び

西澤議員は6月議会の開会冒頭（10日）、12月議会の発言について次のように釈明しました。

学校給食において「餌づくり」と発言したことについて、誤解を招きやすい「比喩」を用い、品位と配慮を欠いた表現となりました。学校給食において「餌づくり」という例えそのものが誤解を与え、町民の方々ならびに愛荘町の学校給食にかかわる全ての関係者（議会、行政、教育委員会を含む）に不愉快な思いをさせてしまったことについて、お詫び申し上げます。

学校給食を「餌づくり」と断定する意図は毛頭ありません。何千食もの大量生産・大量配送によって食育の精神から外れ「手作りの良さを失わないように」との思いを込めて発言したものです。どうぞご理解いただきますようお願い致します。意図するところがそうであったとしても、例えの表現が品位と配慮を欠いたものとなりましたことを真摯に反省しております。

官製談合「白」ならず

28日、官製談合事件の不起訴処分を受け、一貫して官製談合を追及してきた西澤議員は次の感想を表明。

担当検事が「濃い濃い疑惑」と認識しながら、不起訴処分は誠に残念。検察審査会が指摘した疑惑が晴れたわけではなく、関係者が「白」でないことは明白。町政に、これだけ大きな疑惑をまねいた前町長、当時の正副議長らの政治的・道義的責任を今後とも追及していきたい。詳しい見解は後ほど。

参院選に向けた日本共産党の改革提言(目次)

安倍政権の暴走に立ち向かい、「国民が主人公」の新しい政治を

安倍政権の危険な暴走は、ほころびと破たんも始まっています
「自共対決」こそ、参院選挙の真の対決軸です

- 1、アベノミクスの暴走を許さず、消費税増税を中止し、国民の所得を増やす本格的な景気回復の道を



国民は景気回復など実感できません
政府が「投機とバブル」をあおる異常な経済政策の危うさがあらわれています
いま求められているのは、国民の所得を増やす本格的な景気回復の道です

- (1)暮らしと景気をこわし、財政も悪化させる消費税増税の中止を
- (2)賃上げと、安定した雇用、中小企業支援のルールをつくります
- (3)社会保障の大規模な削減路線と対決し、現役世代も、高齢者も安心できる制度に再生・拡充します
- (4)大震災からの復興を最優先課題に一生活と生業の再建に必要な公的支援を

- 2、原発の再稼働と輸出を中止し、「即時ゼロ」の決断を一再生可能エネルギーに大胆に転換する



「国民が主人公」の新しい日本に向けて、日本共産党を大きく躍進させてください

- ・平和、民主主義、暮らしを壊す逆流に、勇気をもって立ち向かう政党です
- ・どの分野でも改革の展望を示している綱領をもつ政党です
- ・国民と共に力を合わせて政治を変える政党です
- ・亡国の政治が、日本の未来に責任を負う政治かが問われています

- 3、「アメリカいいなり」をやめ、国民の利益を守る外交に―基地も安保もない日本をめざし、自主外交でアジアと世界の平和に貢献する



(1)TPP交渉参加を撤回し、日本農業の再生と食料主権、経済主権の確立を
(2)沖縄県民の総意を踏みにじる米軍基地押しつけに反対し、基地のない平和な沖縄、基地のない日本をめざします

- (3)日米安保条約を廃棄し、対等・平等・友好の日米関係を築きます

- 4、安倍政権の改憲への暴走と対決し、憲法を守り、生かす政治を



(1)「憲法を憲法でなくしてしまおう。96条改憲をやめさせ、立憲主義を守ります
(2)憲法9条を守る―日本を「海外で戦争する国」にする改憲策動を許さず、9条を生かした平和の外交をすすめる国に

- (3)日本国憲法の全条項を守り、民主的・平和的条項の全面実施を

- 5、侵略戦争、植民地支配を肯定・美化する、歴史の改ざんと歴史への逆行を許さない



甲良民報

2013年6月30日 556号
発行責任：日本共産党甲良町議員団
連絡：甲良町在士463(西澤)
Tel.Fax38-4949